

# 平成29年(2017年)9月の結果 (二人以上の世帯)

## 消費支出

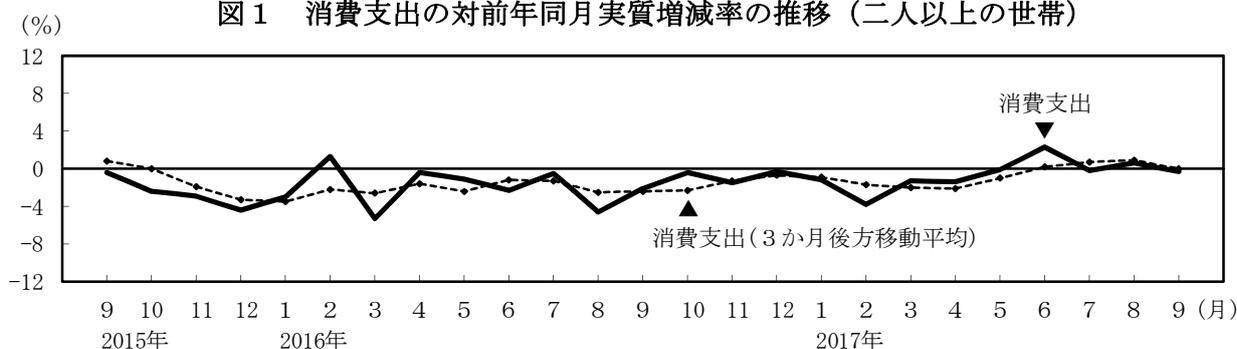
・消費支出は、1世帯当たり 268,802 円  
 前年同月比 実質 0.3%の減少 名目 0.6%の増加  
 前月比(季節調整値) 実質 0.4%の増加

・消費支出(除く住居等)は、1世帯当たり 233,555 円  
 前年同月比 実質 0.7%の減少 名目 0.2%の増加  
 前月比(季節調整値) 実質 0.1%の増加

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

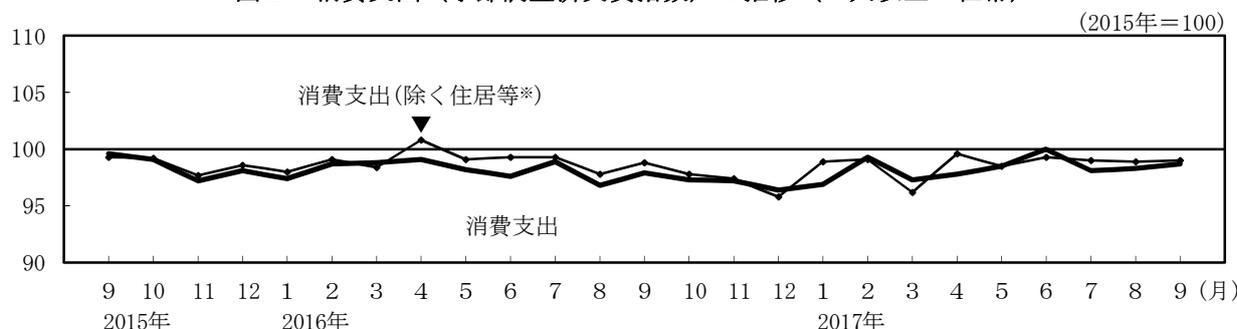


	2016年				2017年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	-2.1	-0.4	-1.5	-0.3	-1.2	-3.8	-1.3	-1.4	-0.1	2.3	-0.2	0.6	-0.3
消費支出(除く住居等)	-0.6	-0.1	-1.9	-1.5	0.3	-3.7	-1.9	-1.3	-0.8	0.1	0.5	0.2	-0.7
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	-2.4	-2.3	-1.3	-0.7	-0.9	-1.7	-2.0	-2.1	-1.0	0.2	0.7	0.9	0.0
消費支出(除く住居等)	-1.5	-1.3	-0.9	-1.2	-1.0	-1.7	-1.7	-2.2	-1.4	-0.7	-0.1	0.3	-0.1

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2016年				2017年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	97.9	97.3	97.2	96.4	96.9	99.3	97.3	97.8	98.5	100.0	98.1	98.3	98.7
対前月変化率(%)	1.1	-0.6	-0.1	-0.8	0.5	2.5	-2.0	0.5	0.7	1.5	-1.9	0.2	0.4
消費支出(除く住居等)	98.8	97.8	97.4	95.8	98.9	99.1	96.2	99.6	98.5	99.3	99.0	98.9	99.0
対前月変化率(%)	1.0	-1.0	-0.4	-1.6	3.2	0.2	-2.9	3.5	-1.1	0.8	-0.3	-0.1	0.1

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2017年9月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	268,802	0.6	-0.3	-		2か月ぶりの実質減少
食料	70,735	1.9	0.9	0.23	<増加> 肉類, 外食など	2か月連続の実質増加
住居	16,175	12.2	12.2	0.66	<増加> 設備修繕・維持	2か月連続の実質増加
光熱・水道	18,826	2.7	-3.1	-0.22	<減少> 電気代, 上下水道料など	5か月連続の実質減少
家具・家事用品	9,594	-5.4	-5.2	-0.20	<減少> 家庭用耐久財, 室内装備・装飾品など	6か月ぶりの実質減少
被服及び履物	8,315	2.3	2.6	0.08	<増加> 和服, 洋服など	2か月ぶりの実質増加
保健医療	12,546	6.6	4.7	0.21	<増加> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具など	3か月ぶりの実質増加
交通・通信	38,861	-2.1	-2.1	-0.31	<減少> 自動車等関係費, 通信	5か月ぶりの実質減少
教育	13,620	-1.1	-1.5	-0.08	<減少> 授業料等	3か月連続の実質減少
教養娯楽	26,604	-3.9	-4.1	-0.42	<減少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用耐久財など	2か月ぶりの実質減少
その他の消費支出	53,526	-0.4	(-1.3)	(-0.27)	<減少> 交際費, 諸雑費	3か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	233,555	0.2	-0.7	-		4か月ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
教養娯楽サービス	[-0.32]	宿泊料, ゴルフプレー料金
家庭用耐久財	[-0.24]	エアコンディショナ, 電気冷蔵庫
自動車等関係費	[-0.21]	自動車等関連用品, 自動車整備費
交際費	[-0.16]	贈与金
魚介類	[-0.14]	さんま, まぐろ
<増加項目>		
設備修繕・維持	[0.90]	外壁・塀等工事費, 設備器具
肉類	[0.11]	牛肉, 豚肉
外食	[0.10]	飲酒代, 和食
保健医療サービス	[0.09]	他の入院料*, 人間ドック等受診料

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

\* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

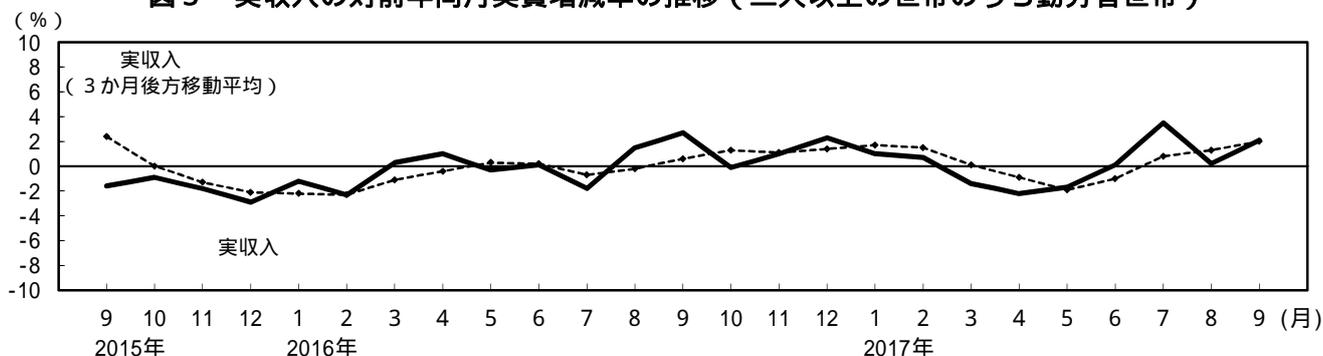
## 実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 437,497 円  
 前年同月比 実質 2.1%の増加 名目 3.0%の増加

### 3 勤労者世帯の収支

#### (1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2016年				2017年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実 収 入	2.7	-0.1	1.0	2.3	1.0	0.7	-1.4	-2.2	-1.7	0.1	3.5	0.2	2.1
(参考)3か月 後方移動平均	0.1	1.0	1.2	1.8	2.2	2.0	0.5	-0.5	-1.4	-0.5	1.3	1.9	2.8
名 目	0.6	1.3	1.1	1.4	1.7	1.5	0.1	-0.9	-1.9	-1.0	0.8	1.3	2.0
実 質													

#### (2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2017年9月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	437,497	3.0	2.1	-	4か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	359,297	3.5	2.6	2.13	2か月ぶりの実質増加
定 期 収 入	351,786	2.9	2.0	1.60	2か月ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	56,665	-0.5	-1.4	-0.18	2か月連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	9,432	13.3	12.3	0.24	3か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	78,971	2.5	-	-	2か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	358,526	3.2	2.3	-	4か月連続の実質増加
消 費 支 出	295,211	-0.4	-1.3	-	2か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	82.3	(前年同月)(ポイント差) 85.3 -3.0			季節調整値で見ると69.8%で、前月と同水準となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。